

【記入例】年金受給選択申出書

◎共済組合の年金を受けている方（請求中の方も含む）は別様式（様式第202号）となります。

提出年月日を記入してください。

①欄：個人番号（マイナンバー）または基礎年金番号を記入してください。

②欄：該当する項目に○をつけてください。

年金の選択にあたっての注意事項

◎必ず、裏面の「年金受給選択申出に関する確認事項」をお読みになり、選択方法を記入してください。

◎「ア」（年金額が高い方を選択する）に○をつけると国から支給される年金額のみ比較して年金額の高い方が支給されます。

③④欄：
③欄に今後選択する年金コードを
④欄にそれ以外の年金コードをそれぞれ記入してください。
また、⑥欄に理由を記入してください。

⑤欄：以下の3条件すべてに該当する方のみ記入してください。

- 「受ける年金を具体的に指定する。」に○をつけた方
- 65歳以上で障害給付を選択する方
- 老齢給付または遺族給付を受けている方

以上の3条件すべてに該当する方は年金受給選択申出書の右側「選択または併給の組み合わせ表」をお読みになり、ア～エのいずれかを○で囲ってください。

※障害給付とは、障害基礎年金、旧国民年金法の障害年金をいいます。

国民年金 共済年金 厚生年金保険		年金受給選択申出書		日本年金機構	
（選択関係にある二つ以上の年金を受けられるようになったときに停止の解除を申請する届及び生計維持申立）					
※裏面の「年金受給選択申出に関する確認事項」を必ずお読みください。 年金受給の選択は、将来に向かって変更することができます。					
基礎年金番号(10桁)で届出する場合は左詰めでご記入ください。 令和 XX 年 XX 月 XX 日 提出					
①	個人番号 (または基礎年金番号)	X	X	X	X
②	選択方法	下欄のアイのうち、いずれかに○を付けてください。			
		ア 国から支給される年金額を比較して、年金額が高い方を選択する ⇒③欄に年金額の高い年金コード、④欄にそれ以外の年金コードをご記入ください。 <small>(注)額の比較にあたっては、企業年金などの支給の有無や金額は考慮されません。国の年金以外に企業年金など支給される場合で、その支給の有無や金額について考慮を不要とする場合は(ア)をご記入ください。</small>			
	イ 選択する年金を具体的に指定する ⇒③欄に選択する年金コード、④欄にそれ以外の年金コード、⑥欄に受ける年金を指定する理由をご記入ください。 <small>(注)企業年金や特例年金など国の支給する年金以外の要素を考慮した結果、国の支給する年金のうち年金額が低い方を選択する場合または年金額の高低にかかわらず支給する年金の種類が決まっている場合(イ)をご記入ください。</small>	<input checked="" type="radio"/>			
③	選択する年金の年金コードの年金コード(支給停止の解除を申請する年金)	1	3	5	0
④	選択する年金以外の年金コード	1	1	5	0
⑤	下欄のアからエのうち、いずれかに○を付けてください。				
	ア 障害基礎年金と障害厚生(共済)年金(※同一事由によるもの)				
	イ 障害基礎年金と老齢厚生年金(退職共済年金)、または、障害基礎年金(※遺族厚生年金(遺族共済年金))				
	ウ 障害基礎年金と老齢厚生年金(退職共済年金)の1/2と遺族厚生年金(遺族共済年金)の2/3				
	エ 障害基礎年金の一部と遺族厚生年金(遺族共済年金)と旧老齢年金(旧退職年金)の一部 <small>(注)イ、ウの「障害基礎年金」は、障害基礎年金または旧国民年金法の障害年金。 エの「障害基礎年金」は、障害基礎年金(裁定)または旧国民年金法の障害年金。</small>				
⑥	備考	企業年金を考慮			
⑦	生計維持申立	加算額・加給年金額の対象者の氏名	生年月日	個人番号	受給権者との続柄
		年金 花子	昭和 XX 年 XX 月 XX 日	XXXXXXXXXXXXXX	あり
		年金 恵子	昭和 XX 年 XX 月 XX 日	XXXXXXXXXXXXXX	あり
上記の加算額・加給年金額の対象者は、加算の対象となったときから引き続き生計を維持していることを申し立てます。					
⑧	住所	〒168-0011 杉並区高井戸西 3-5-24 O OマンションXX号室			
⑨	氏名	ネンキン タロウ			
⑩	生年月日	昭和 XX 年 XX 月 XX 日			
⑪	連絡先の電話番号	(XX) - (XXXX) - (XXXX)			

⑥欄：
 •②欄の「ア」に○をつけた場合で、企業年金を受けられるときは、その旨を記入してください。(例：企業年金考慮不要など。)
 •②欄の「イ」に○をつけたときは、その理由を記入してください。(例：所得税を考慮など。)
 •③、④欄に記入すべき年金がまだ決定されていない場合は、その年金の種類、手続きをした年金事務所等の名称と提出年月日を記入してください。

⑦欄：新たに選択する年金の額に加算額（振替加算を除く。）または加給年金額が加算されている方は、生計維持申立欄に生計を維持していることを記入してください。
 ただし、すでに支払われている年金を引き続き選ぶ場合であって、加算対象者についての加算額または加給年金額が支払われているときは、記入する必要はありません。

⑧⑨⑩⑪欄：住所、氏名およびフリガナ、生年月日、連絡先の電話番号を記入してください。

